

2015/2016 年度 第 3 回全国委員会 議事次第

日時: 2016 年 3 月 20 日(日) 10:30~16:25

会場: 筑波大学東京キャンパス

出席者(敬称略):

呑海[東京], 加藤[千葉], 大田原[千葉], 赤澤[京都], 江沢[東京], 北川[東京], 鈴木[埼玉], 高井[東京], 西脇[東京], 和知[点在], 上村[東京](記録)(以上, 常任委員),
磯本[北海道], 井ノ口[群馬], 小笠原[千葉], 山口[東京], 中島[愛知], 長坂[京都], 小村[大阪],
森藤(代理)[兵庫], 辻(代理)[広島], 矢崎[福岡](以上全国委員),
米倉[東京](以上事務局)

配布資料:

資料 1: 第 47 回全国大会(広島大会)概要

資料 2: 会計報告(月次会計報告, 収支状況, 会報印刷発送, 会費納入率)

資料 3: 地域グループへの移行に関する支部別回答一覧

資料 4: 支部活動報告

資料 5: 大学図書館問題研究会オープンカレッジ予算案

資料 6: 第 47 回全国大会(広島大会)予算案

資料 7: 第 47 回全国大会(広島大会)スケジュール

1. 報告事項

1.1. 小委員会

2015/2016 年度の体制は以下のとおりである。

- ① 研究活動小委員会: ◎西脇・上村・北川・大田原
- ② 編集小委員会: ◎鈴木・○池田・北川・和知
- ③ 広報小委員会: ◎江沢・加藤・赤澤
- ④ 組織小委員会: ◎大田原・西脇
- ⑤ 全国大会小委員会: ◎呑海・上村・和知・赤澤・江沢
- ⑥ 事務局: ◎上村
 - ・会計: ○北川・赤澤(小笠原・米倉・佐藤)
 - ・会費徴収: ○赤澤(米倉)
 - ・出版部: (市村)
 - ・ML 管理: 高井

事務局の会費徴収担当を独立させた。

1.1.1. 研究活動小委員会

(1) 関東 5 支部新春合同例会

日時: 2016 年 1 月 30 日(土)15:00~17:00

会場: 筑波大学東京キャンパス文京校舎 117 講義室

テーマ: 松竹大谷図書館のクラウドファンディングによるプロジェクト

講師: 武藤祥子氏(公益財団法人松竹大谷図書館)

(2) 近畿 3 支部合同例会

日時: 2016 年 3 月 21 日(月・祝)12:30 受付, 13:00 開始

会場: 弁天町 ORC200 生涯学習センター(オーク 200 ビル内 2 番街 7 階)第 2 研修室
テーマ:「オンライン教材, 教学 IR と大学図書館」

講師・演題:

船守美穂氏(東京大学 教育企画室)

「オンライン教材の動向と大学図書館の役割—米国の事例を中心として」

星野聡孝氏(大阪府立大学 高等教育推進機構)

「大阪府立大学における, 学びの可視化の取り組み」

小松泰信氏(大阪女学院大学 ラーニング・ソリューションセンター)

「デジタル化された全学情報リテラシー教育の現在～学習情報の蓄積と共有を通じて～」

現時点で 32 名が参加予定である。

1.1.2. 編集小委員会

(1) 会報編集の進捗状況

・11,12,1 月号:発行・送付済み

・2 月号(担当:和知)

4 校中である。

巻頭言:和知

特集:東日本大震災から 5 年:震災アーカイブの現在「大学の図書館」編集小委員会
(文責:和知)

「未来につなげる震災アーカイブ『はまどおりのきおく』小椋幸二

「震災の経験から学ぶために～東北大学附属図書館震災ライブラリーの活動について～」永井伸

「OPAC を中心とした震災アーカイブの利用活性に関する研究紹介」富澤浩樹

研究グループを募集します

第 1 回 変わる大図研

組織通信・議事録

・3 月号(担当:大阪支部)

初校中。2 校ですむ予定である。2・3 月号同時発送の可能性はある。

巻頭言 兵庫支部 井上昌彦

特集記事 学び直しのススメ - 社会人大学院の経験者に聞く

「社会人大学院で政策としての図書館を学ぶ」嶋田学

「学術情報の『提供者』から『発信者』へ」梅澤貴典

「越境学のススメ」藤澤聡子

「仕事との両立はハードだけれど得るものも大きい大学院」是住久美子

「もっと気軽に大学院へ」天野絵里子

「社会人大学院で経営組織論を学んで」松原恵

「楽しく再チャレンジ～うまくいかない仕事と自分の見つめ直し」永利和則

「社会人大学院のすすめ」呑海沙織

大阪支部 12 月例会「富山の寒ブリと図書館見学を楽しむ会」吉田弥生

関東五支部合同例会参加レポート 磯崎みつよ

組織通信・議事録

第 2 回 変わる大図研

- ・4月号(担当:京都支部)
講師に原稿を書いてもらう予定で進めている。
→特集のボリュームがどのくらいになるか鈴木氏に連絡する。
特集:オープンカレッジ予稿集

(2) 会報各号の担当者

- ・1月号:鈴木
- ・2月号:和知
- ・3月号:大阪支部
- ・4月号:京都支部
- ・5月号:北川
- ・6月号(議案書号):全国大会実行委員会
- ・7月号:和知
- ・8月号:兵庫支部
- ・9月号:北海道支部
- ・10月号(大会フラッシュ):鈴木
- ・11月号:宮丸
- ・12月号(大会記録号):鈴木

(3) 研究会誌

- ・次号の進捗状況
- ・現在, 投稿規定の改訂および査読体制の検討中である。

(4) その他

会報発行遅延の対応(2015年11月号および12月号)

1.1.3. 広報小委員会

11/25~3/5の報告事項は, 下記のとおりである。

(1) Web

- ・大図研について(全国委員・会計監査名簿, 運営体制), 問合せ先を更新した。
- ・議事要旨は2015/2016年度第3回常任委員会記録まで公開済みである。
- ・各支部の活動予定等は, 活動日誌(googleカレンダー)にて適宜提供している。
- ・出版物の情報提供として, 新刊情報, 会報の目次情報等を刊行の都度更新している。

(2) SNS

- ・Twitter: 投稿 854→877(23件投稿), フォロワー640→670(+30), リツイート11, いいね6
- ・Facebook: いいね 236→268(+32), 投稿21件(見た人3893, いいね!194)

(3) 支部だより

- ・毎月, 前月15日から当月14日の活動状況を各支部から情報提供を受け, 全国委員MLと会員MLに投稿している。
- ・2016年1月15日~2月14日分までメーリングリストで報告済, 大図研ウェブ「支部活動」にも掲載済。

1.1.4. 組織小委員会

2015年11月～2016年2月分(2015/11/19～2016/2/19)の組織通信は、下記のとおりである。

- (1) 入会(3名)
- (2) 入会希望(1名)
- (3) 退会希望(2名。会費納入状況確認中)
- (4) 連絡先不明(1名)
- (5) 現勢会員数
485名(前回:482名)
- (6) ML登録アドレス数
374
- (7) その他
一括配送分についての宛名の分割の進捗状況

1.1.5. 全国大会小委員会

【資料1】参照

(1)第47回全国大会(広島大会)日程

日程:2016年8月27日(土)～29日(月)

会場:広島YMCA国際文化センター

スケジュール:

8月27日(土)

12:00～ 受付開始

13:30～16:00 会員総会

16:15～17:15 研究発表

17:15～17:30 写真撮影

18:00～20:00 懇親会

8月28日(日)

9:30～12:30 分科会

12:30～14:00 お昼・自主企画等

14:00～17:00 分科会

8月29日(月)

9:30～12:00 シンポジウム

大会ウェブ:http://www.daitoken.com/research/annual_conference/2016/

(2)第47回全国大会(広島大会)実行委員会

赤澤久弥(京都支部)

磯本善男(北海道支部):副実行委員長

上村順一(東京支部):副実行委員長

江沢美保(東京支部)

小村愛美(大阪支部)

辻水衣(広島支部):副実行委員長
呑海沙織(東京支部):実行委員長
長坂和茂(京都支部)
中島慶子(愛知支部)
松原恵(東京支部)
山口友里子(東京支部)
山下泰史(東京支部)
和知剛

(3) 事前打ち合わせ

日時:2015年12月19日(土)

場所:広島経済大学立町キャンパス(2F・121教室)

出席者:西川・辻・沖政・渡邊・楫(以上,広島支部)・呑海・上村

宿泊は4月に入ったら照会する予定である。

今回は、企業協賛を多く募りたい。18社を予定しており、11社を新規開拓する必要がある。全国委員もご協力をお願いしたい。

→広島地域の本屋を手配中である。

企業協賛を多く入れられれば、大会バックを作成したいと考えている。

事務局控室となる小会議室1の、3日目午後も、片付けの時間分として押さえる必要があるかもしれない。

今回、記念講演は実施しない。

1.2. 事務局

(1) 会計

月次会計報告, 収支状況, 会報印刷発送, 会費納入率

【資料2】参照

(2) 出版部

①会報購読状況

・新規2件(書店2) 中止7件(機関4, 書店1, 個人2) ※2015/10/1~2016/3/5

・継続181か所(機関129, 書店45, 個人7)191部 ※2016/3/5現在

・単品(通販)3か所7部 ※2015/10/1~2016/3/5

②研究会誌

・新規なし 中止2件(会員2) ※2015/10/1~2016/3/5

・継続111か所(機関74, 書店20, 会員15, 非会員2)117部 ※2016/3/5現在

・単品(通販)4か所4部 ※2015/10/1~2016/3/5

・単品(関東五支部合同例会)1件1部 ※2016/1/30

(3) 地域グループへの移行

【資料3】参照

地域グループの情報は、Web・会報に載せるので、今現在の情報が分かるように表現を検めてほしい。

→3月末までに修正を受け付け、改めて全国委員会 ML に流す。

(4) その他

- ・会計監査：浜田氏(埼玉支部)が決定した。
- ・会報発送用封筒の変更
 予算削減を目的として、2015年11月号より、角3封筒(クラフト85g/m²クイックつき スミ1色 片面印刷 9,000枚 約13万円)から、透明封筒(OPP袋 9,000枚 約3万円)へ変更した。
- ・雑誌新聞総かたろぐ 2016年版の校閲を実施した。
- ・会報の発送手続きを変更した。

1.3. ワーキング・グループ

1.3.1. 研究グループ WG

- ・会報 2016年2月号および大図研ウェブサイトにて、研究グループを募集する。(4月末締切)

1.3.2. 会費徴収 WG

(1) 活動内容

口座情報調査票を作成した。今後の照会にご協力願いたい。

-----調査票案-----

- ・支部/地域グループ情報
2016年度からの地域グループ名：

- ・口座情報
口座名義：
銀行名：
店名：
口座番号：

地域グループへの移行に伴う口座情報の変更予定： ある・ない

(2) 今後の活動予定

3月

- ・各支部口座情報調査開始(各支部へ調査票の配布)
- ・マニュアル作成開始

4月

- ・会計業務協力者募集開始
- ・各支部口座情報調査及びマニュアル作成完了
- ・会費台帳整理完了
- ・各支部及び支部非加入会員から未納分の会費納入完了(4月末日期限)

5月

- ・各会員宛に 2016/2017 年度会費納入依頼を発送

6月

- ・新体制移行調整期間(2016年4月～6月末日)終了

- 7 月
・ 新体制移行

支部内で、6 月までに会費を徴収をしておいてほしい。

1.3.3. 会員組織 WG
特段の報告事項なし

1.3.4. 出版物管理 WG
特段の報告事項なし

1.3.5. 全国大会 WG
特段の報告事項なし

1.4. 支部活動

【資料 4】参照

群馬支部は、地域グループへの移行については話し合う機会がなかったので、メール会議を実施し決定した。

愛知支部は、地域グループへの移行については運営委員のメール審議で決定した。

2. 審議事項

2.1. 小委員会

2.1.1. 研究活動小委員会

大学図書館問題研究会オープンカレッジ 2015/2016 実施案

テーマ:「大学図書館の最新トピックを学びなおし(仮)」

実施日:2016 年 7 月 2 日(土) 9:00 から取っている。10:00 からか? 10:30 か?

会 場:キャンパスプラザ京都 第 1 会議室 (定員 63 名)

講 師:

- ① 飯野勝則氏(佛教大学図書館専門員)
「ディスカバリーサービスの最新動向 (仮)」
- ② 井村邦博氏(株式会社アイキューム)
「メタデータと名寄せの最新状況(仮)」
- ③ 村田淳先生(京都大学障害学生支援ルーム助教)
「『障害者差別解消法』とは? (仮)」

共 催:大学図書館問題研究会京都支部

参加費:会員・学生:1 コマ 500 円, 2 コマ以上 1,000 円

非会員:1 コマ 1,000 円, 2 コマ以上 1,500 円

想定参加者:40 名(目標は 50 名)

予算案:【資料 5】参照

非会員の 2 コマ以上の参加費は 1 コマの倍となっておらず、会員の価格設定と整合性がとれていない。しかし、2,000 円は高いのではないかという意見があったため、このような価格設定になっている。

→DOC は非会員に大図研の活動を広報することが大きな目的のひとつであるため、審議の結果、原案どおりを進める。

京都支部の共催も問題ない。

再来年度も東京以外の開催でもよい。

京都支部委員のDOC参加費は徴収するが、決算が黒字(40名超)になった場合は考慮する。

2.1.2. 編集小委員会
特段の審議事項なし

2.1.3. 広報小委員会
特段の審議事項なし

2.1.4. 組織小委員会
特段の審議事項なし

2.1.5. 全国大会小委員会

(1) 全国大会予算案

【資料6】参照

札幌大会からの変更点としては、名札を開催毎に新調することとした点である。

大会バッグは収入が多ければ作成する。機器費はリース料になる。

審議の結果、原案どおりで進める。

(2) 全国大会スケジュール

【資料7】参照

全国大会で何をやるか、を早めに会員に提示することを目的に、「テーマ決定」を設定した。会報5月号に分科会のテーマを掲示し、議案書号である6月号に分科会の内容を掲示する。

それぞれ、テーマについては4月25日を〆切、講師を含めた概要については5月20日を原稿の〆切とする。

なお、PCは各分科会で用意することとなった。

分科会講師と使用機器の〆切は7月10日とするが、使用機器は数が限られているので、早めに分かっているのであれば抑えておきたいので、随時大会実行委員会に連絡すること。

(3) 分科会分担

以下のとおりに決定した。

第1分科会	大学図書館史	加藤	大田原	
第2分科会	高等教育政策	山口	小笠原	
第3分科会	利用者支援	矢崎	[兵庫支部]	鈴木
第4分科会	情報組織化	長坂	高井	
第5分科会	出版・流通	中島	赤澤	
第6分科会	図書館経営	江沢	井ノ口	
第7分科会	資料保存	西脇	北川	渡邊
第8分科会	リカレント教育	小村	和知	

未定：池田、神奈川支部(平田)、石川支部(巖本)

(4) シンポジウムのテーマ

「広島大学の高等教育研究」で進めることとなった。

担当は鈴木、矢崎とする。

2.2. 事務局

特段の審議事項なし

2.3. ワーキング・グループ

2.3.1. 研究グループ WG

地域グループに所属する際、メインの所属を決定するかについて審議した。

審議の結果、メイン所属は決定しないが、問題があった場合、2年後に再検討することとなった。

2.3.2. 会費徴収 WG

特段の審議事項なし

2.3.3. 会員組織 WG

特段の審議事項なし

2.3.4. 出版物管理 WG

会誌の電子化や会報の隔月刊化も視野に入れて検討している。具体的には会報・会誌の掲載内容や、役割分担について検討している。

会報は本来ニューズレターであり、会誌は研究発表のための媒体であるので、今後、二誌の位置づけや編集について議論したいと考えている。

出版物管理については、外部委託を含め検討する必要がある。

2.3.5. 全国大会 WG

特段の審議事項なし

2.4. その他

全国大会実行委員のうち、議案書号は和知、予稿集は中島が担当することとなった

・大図研の呼称

本会の略称は「大図研」であるが、「ダイトケン」の使用が散見される。「大図研」と「ダイトケン」が別組織であるという認識がされている場合もあることから、今後、検討が必要である。

また、大学図書館問題研究会の「問題」が、会員の新規参加を妨げているという意見もある。

全国大会(会員総会)で話題を出す方向で検討する。

・五十周年記念事業

今後、五十周年記念事業を推進する予定である。

バックナンバーのデジタル化、50周年誌、記念グッズ作成、年表作成等、意見が出されているので、協力願いたい。

財源確保も要検討である。

・海外図書館ツアー

五十周年記念事業の一環にしてもよいのではないかという意見があった。

また、夏に本ツアー、秋に2日間制の全国大会として開催する案も出された。

3. 各種日程等

- ・次回常任委員会

日時:2016年3月27日(日)13:30～

場所:筑波大学東京キャンパス

- ・会計監査

日時:2016年7月24日(日)

場所:筑波大学東京キャンパス

- ・次回全国委員会

日時:2016年8月27日(土) 午前

場所:広島 YMCA 国際文化センター2号館 4FII